

製品安全データシート

【製造社情報】

会社名	株式会社 ツネミ		
住所	〒800-0117 福岡県北九州市門司区恒見1313-13		
連絡先	TEL 093-481-0278	FAX 093-481-0390	

作成・改定記録

作成日 令和元年5月13日

【製品名】

壁ととのえ〜る

推奨用途及び使用上の制限

モルタル、コンクリート、タイル防水シートなどの下地調整強化材として用いられる。

①. 【危険有害性の要約】

GHS分類

GHSラベル要素



健康有害性	皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1 区分1 区分3(気道刺激性) 区分1(呼吸器)
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷及び重篤な眼の損傷 呼吸器への刺激の恐れ(気道刺激性) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器)	
分類の名称	科学物質等の危険有害性表示に関する指針別表の分類基準に該当しない。	
危険性	不燃性であり、通常の取扱上危険な製品ではない。	
有害性	眼・鼻・皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす場合がある。飲込むと、喉を刺激する。	
注意喚起語	危険	
注意書き		
[安全対策]	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉塵を吸入しないこと。 保護手袋および保護眼鏡や保護面を着用すること。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する際に、飲食または喫煙をしないこと。	
[応急措置]	吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。気分が悪いときは医師の手当てを受けること。	
[保管]	部外者が触れないような措置をし、保管すること。	
[廃棄]	内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。	

②. 【組成及び成分情報】

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	セメント混合型混和材
含有成分	アクリル樹脂粉末、繊維、珪砂 炭酸カルシウム、高炉スラグ、二酸化ケイ素、セルロース誘導体 ケイ酸カルシウム、アルミン酸カルシウム、鉄アルミン酸カルシウム

③. 【応急処置】

目に入った場合	速やかに、清浄な水で十分に洗眼した後、医療処置を受ける。
皮膚に付着した場合	速やかに、水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。
吸引した場合	速やかに、新鮮な空気のある場所に移し、水または温水でうがいさせ、必要に応じて医療処置を受ける。
誤飲した場合	無理に吐き出させないで、医療処置を受ける。

④. 【火災時の措置】

適切な消化剤	不燃物質であり、製品による火災は起こり得ない。
消化剤	不燃物質であるため、必要としない。

⑤. 【漏出時の措置】

人体に対する注意事項	回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、防塵マスク等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項	粉塵が飛散しないようにする。 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しない対策をとる。
封じ込め及び浄化方法	漏出、飛散した場合は、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し廃棄まで容器で保管する。床面等に残ったものは、水で洗浄する。
回収	回収物や洗浄水等は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処分する。

⑥. 【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	取扱者のばく露防止：眼、皮膚等への接触を避けるために、適切な保護具(保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、防塵マスク等)を着用する。 取扱い後は、顔、手、口等を水洗いする。 使用あたっては、破袋につながるような粗暴な取扱いをしない。
保管	
安全な保管条件	混触禁止物質
	水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。 乾燥した場所に保管する。 床・壁との直接接触を避ける。

⑦. 【曝露防止及び保護装置】

管理濃度	(労働安全衛生法・作業環境評価基準)	2.9mg/m ³
許容濃度	日本産業衛生学会(1991年度版)第2種粉塵	
保護具		
呼吸器の保護具	防塵マスク	
手の保護具	保護手袋	
眼の保護具	保護眼鏡	
皮膚及び身体の保護	保護長靴、保護衣	
設備対策	室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。	

⑧.【物理的及び化学的性質】

形状	微香性粉体
色	灰白色
嵩比重	1.7～2.0
溶解性	一部の有機成分が乳化する 無機質粉体は難溶性
可燃性	不燃物質
その他のデータ	爆発性なし、水硬性

⑨.【危険性情報】

引火点	不燃物質
発火点	不燃物質
爆発限界	上限 — 下限 —
可燃性	不燃物質
発火点	なし
酸化性	なし
自己反応性・爆発性	なし
安定性・反応性	水と反応して安定固化する。

⑩.【有害性情報】

水と接触すると、水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(pH12～13)を呈し、
そのために眼や皮膚を刺激する可能性がある。

多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがあります。

⑪.【環境影響情報】

生態系影響については、データなし。接触水は、強いアルカリ性(pH12～13)を呈するから、
環境に影響を及ぼさないように注意する。

⑫.【廃棄上の注意】

固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、廃棄する。
洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分に注意しなければならない。

⑬.【輸送上の注意】

破袋・荷崩れをなどの防止を確実に行う。
湿気、水漏れに注意する。

⑭.【適用法令】

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
労働衛生安全法
じん肺法

⑮.【その他の情報】

その他

- : 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保障するものではありません。
なお、新しい知見により訂正されることがあります。
- : 危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- : SDSの注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。
特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。
- : 特殊な取り扱いの場合は、当方へご相談下さい。